

第 30 回子育て支援分科会開催報告

21.10.22.

分科会主査（代行）：八木英樹

開催日時	10月20日（水）9:00~10:30（Zoom）
参加者 （順不同、敬称略）	東京大学・高齢社会総合研究機構(IOG)：荻野先生、高瀬先生、 地域包括支援センター：1名、 町内会：6名、
配布資料	コロナ禍における分科会活動（八木作成）、 町内の子どもたち向け PC の基礎教育案（毛利様作成） 分科会活動指針（叩き台）（荻野先生作成）

議題 1. 町内の子どもたち向け PC の基礎教育案（毛利様）

毛利様がご自宅の旧式 PC に LINUX をインストールし動作確認済。町内で遊休化している PC を提供いただき、町内会館で子供たちに触れさせ、以下の PC の基礎教育を行う。

- 1) PC に LINUX をインストールし、Scratch を載せて自由に遊ばせる。
- 2) コンピュータのハードウェアの仕組みを理解させる。必要なら分解、組み立てを行う。
- 3) LINUX で OS の仕組みの教育を行う。

以下のような意見が交わされた。

- 1) 鎌倉市が市立中小学校生徒に貸与している PC はアップルの iPad で、最近、生徒が自宅に持ち帰ることを認めるようになった。学校によって、活用状況は一樣ではない。深沢小は学校の予定表を 구글 クラスルームで配信している。
- 2) ご提案実践に向けて、町内各戸に、遊休化していて提供可能な PC についてのアンケートを行う。

議題 2. 来年度の活動計画検討

コロナ禍におけるこれまでの分科会活動を資料に基づき報告し、今後の活動について意見交換した。

- 1) イベントは質の面では好評だが、参加者が毎回 2, 3 家族と極端に少ない。同じことを「放課後かまくらっ子深沢」で行った時と比べ、桁が違う。何故なのか、オンラインだからなのか、増やす手立てはあるのか。
- 2) 近年、子育て世代は共働きが一般的で、子ども会の役員はなり手が減っており、恒例行事を維持するのが重荷になっている。分科会でどんなサポートが可能か検討する。
- 3) 毎年 20~30 世帯が転入してくるが概ね子育て世代。子育てに有益な情報や指導活動の提供が喜ばれる。

議題 3. 来年度の活動計画

- 1) 高瀬先生が米国の学会で発表される。その材料として、分科会活動に関する意見を各人説明した。
- 2) 荻野先生が活動指針（叩き台）を説明された。次回以降、これをベースに討議してまとめる。

次回開催要領

日時：11月30日（火）午前9時～（Zoom）

議題：来年度活動計画

以上